

特別の教育課程編成について（英語活動の実施）

1 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

小学校第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（1年生は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案） ※令和2年度版

区分	各教科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作DVD『OK English(約8分のDVD)』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。DVDの内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともにDVDを繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

【資料2】OK English



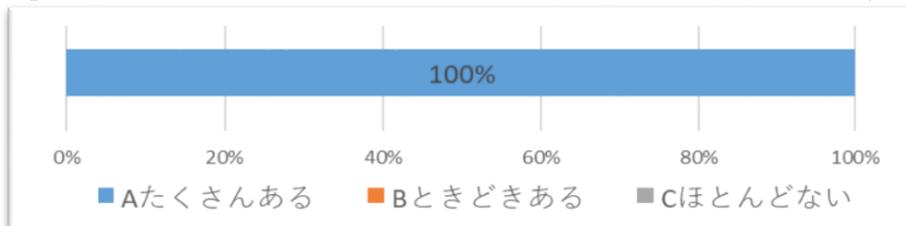
2 本校の取組

本校では、毎日13時50分から14時までの10分間を「英語活動」の時間としています。児童は、担任とともにDVD『OK English』を視聴し、歌を歌ったり、英単語を発音したりすることを通して、簡単な会話に親しんでいます。1週間続けて同じ内容を視聴するうちに、英語表現に慣れていきます。

3 児童のようすやアンケートから

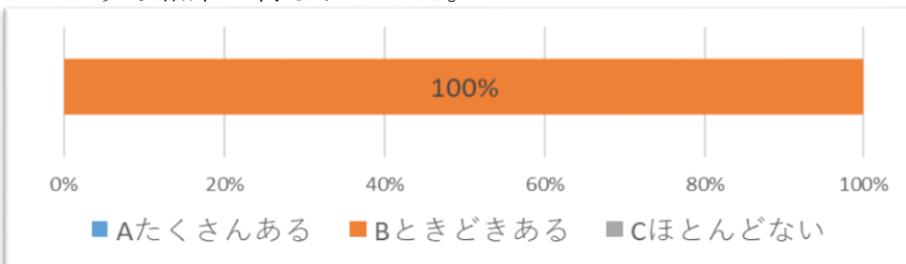
1年生から4年生の児童を対象に、英語活動についてのアンケートを実施しました。「英語活動は楽しいですか」という質問に対し、「とても楽しい」「楽しい」と肯定的な回答した児童は、全体の87.5%でした。このことから多くの児童が英語活動に楽しく取り組んでいることが分かりました。続いて、1.2年生に「英語活動で、英語をまねして言えることがありますか」と質問したところ、資料1のような結果が得られました。

【資料1】



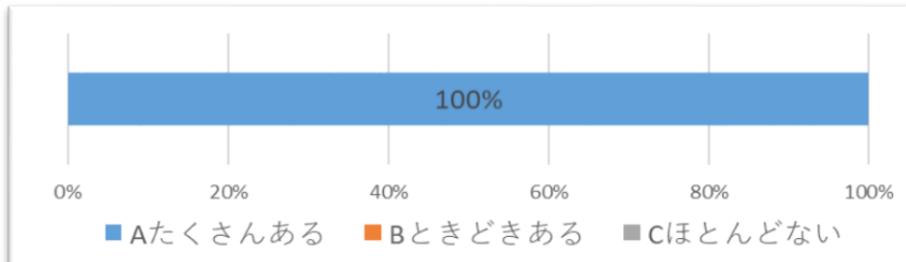
このことから、ネイティブスピーカーの発音を聞き、積極的に発声していることが分かります。また、1.2年生に「おぼえた英語を家でも使うときがありますか」と質問したところ、資料2のような結果が得られました。

【資料2】



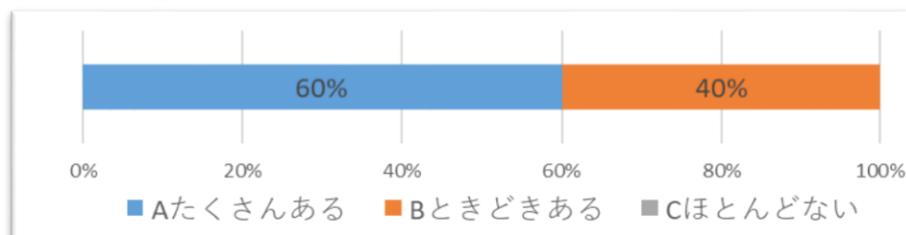
このことから、英語活動で英語表現に慣れた児童が、家庭でも英語表現を使うことが分かります。次に、3.4年生に「英語活動で聞いたあいさつやかんたんな会話を使うときがありますか」と質問したところ、資料3のような結果が得られました。

【資料3】



このことから、ネイティブスピーカーの発音を聞き、覚えた簡単な英会話を抵抗なく話せることが分かります。また、3.4年生に「おぼえたあいさつやかんたんな会話を家でも使うときがありますか」と質問したところ、資料4のような結果が得られました。

【資料4】



このことから、英語活動を続けてきたことで、あいさつや簡単な会話を生活の中でも活用していることが分かります。

4 保護者の声

「英語活動」について、保護者からは学校の取組に対して肯定的な回答をいただいています。特に、複数の方から「小学校低学年から続けていることで、自然と英語に慣れることができるのがよいと思います」、「あいさつや買い物の仕方など、実践的な英語に小さいころから触れることで、コミュニケーション能力を高めることができるので、今後も継続していただきたい」などの意見をいただきました。児童の成長に満足し「英語活動」の取組に理解を示してくれていること、今後も英語活動に期待していることがうかがえます。

このように、外国語学習の基礎として、英語に慣れ、親しむ「英語活動」の継続した実践は、高評価をいただいています。

5 まとめ

「英語活動」により、児童は英語に親しみ、簡単なあいさつなどの英語による表現を身に付けていくことができています。今後も、児童が英語により慣れ親しめるように、「英語活動」や外国語活動の充実を図り、さらに高学年の外国語科の学習につながるように、工夫して取り組んでいきます。